

## 令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立東部特別支援学校 伊豆高原分校 P T A
学 校 名	静岡県立東部特別支援学校 伊豆高原分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	39人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	業務用刺繍ミシン
使用学年及び人数	高等部1、2、3年生 39人(特に工芸班10人)
使用頻度	週に1～2回程度
使用状況	・作業学習の時間に、工芸班の生徒が布製品に刺繍をするために主に使用しています。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちは、ミシンの性能の高さが分かり、昨年に引き続き、緊張感を保ったまま作業することができています。</li> <li>・縫製担当の生徒が主に使用しています。昨年度の東部特別支援学校伊豆高原分校のアルファベット刺繍を元に、これまで製作・販売している『コースター』を作ってはどうかと生徒たちで案を考えました。</li> <li>・自分たちで決めた製品なので、意欲的に取り組むことができています。</li> </ul>
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き、多くの製品を販売し、生徒たちが自信をもって作業できるよう、刺繍の柄と布製品の種類を考えていきたいです。</li> <li>・刺繍ミシンについて、工芸班の教員以外の教員も学び、作業学習だけではなく、家庭科でも活用していきたいです。</li> </ul>

<p>その他 希望や所感など</p>	<p>・今後も刺繍ミシンを活用しながら、生徒とデザインや製品について考え、生徒が主体的に作業学習に取り組めるようにしていきます。</p>
------------------------	--

## 2. 活用の様子



準備やボタン操作ができるようになりました。



校名の東部特別支援学校伊豆高原分校の頭文字をアルファベットで刺繍したものを、コースターにするため、ミシンで縫いました。

